

# 『琵琶湖横断のクルージングと、竹生島と長浜を歩く』

令和2年11月13日 4班担当

琵琶湖の沖合に浮かぶ神秘とロマンの詰まった『竹生島』は、島自体が巨大な一枚の岩(花崗岩)でできた強力なパワースポットです。



(竹生島全景)

今回は今津港から竹生島へ。さらに長浜港へ琵琶湖横断のクルージングを楽しみ、羽柴秀吉が初めて城持ち大名となって開いた城下町、長浜を散策します。湖北は室町時代から安土桃山時代にかけて織田信長、豊臣秀吉の天下統一への戦乱に巻き込まれていきました。市街地の周辺には、浅井長政の居城であった小谷城跡、石田三成出生の地、姉川の合戦跡など戦国時代を駆け抜けた武将たちの足跡が残り、戦国ロマンあふれるみどころが一杯です。江戸時代には大通寺の門前町や北国街道の宿場としても栄え、現在でもその町並みが残っています。



(長浜城歴史博物館)

- 開催日: 令和2年11月13日(金) ※1. 小雨決行
- 集合: 琵琶湖汽船今津港乗り場に10:20集合※2。  
4班の担当者が近江今津駅改札出口で港までの道順を案内いたします。(徒歩10分)
- 行程: 今津港集合(10:20)・今津港(10:40発)⇒竹生島(11:05着)竹生島散策※3⇒竹生島港(12:05発)※4⇒長浜港(12:35着)⇒長浜城歴史資料館(13:00)※5⇒大通寺(14:00)⇒大通寺解散(15:00)※6⇒OP曳山博物館※7.⇒長浜駅

※1. 小雨決行いたします。

※2. 近江今津直通/大阪駅(8:15発)⇒近江今津駅(9:32着)

京都乗換/大阪駅(8:22発)⇒京都(8:51着) 湖西線乗り換え、京都(8:58発)⇒近江今津駅(10:05着)

※3. 竹生島は4班の担当者が案内いたします。3つのグループに分かれて散策(約50分)

※4. 昼食は船内でとります。(おにぎり、パンなどの軽食でお願いいたします。)

※5. 長浜観光ボランティア協会のガイドに依頼(10人以下のグループに分かれる)

※6. 大通寺で解散(15:00予定)

※7. OPで曳山博物館の見学をお勧めいたします。(入場料600円は個人負担)

- 持ち物: 昼食(船内につき軽食で)、飲み物、帽子(日傘)、履きなれた靴、事前配布資料など
- 参加費: 往復のJR費用は個人負担。  
そら組負担(船代2600円、竹生島入島料450円、長浜城入場料330円、大通寺拝観料450円、長浜観光ボランティアガイド料1000円/ガイド1人)
- 配布資料: 事前にガイド資料を配布いたしますので一読ください。(当日持参のこと)

7. 出欠の連絡: 各班長は10月9日までに4班大村班長宛に連絡のこと



宝厳寺 国宝「唐門」

西国第30番札所。京都東山の豊国廟の極楽門を移築。国宝・重文に指定されている唐門と観音堂には豪華絢爛な桃山様式の美しい彫刻や鮮やかな文様が今も残されている。



船廊下(重要文化財)

船廊下は寺と神社をつなぐ廊下で、朝鮮出兵のおりに秀吉公のご座船(ござぶね)として作られた日本丸の船檣(ふなやぐら)を利用して作られたところから、その名がついている。



大通寺

真宗大谷派の別院。教如上人(きょうにょ)が、道場を、旧長浜城内に開いたのが始まりで、長浜御堂と呼ばれていた。安土桃山時代末期、京都に東本願寺が建立され、御堂を大通寺とし、その4年後に現在地に移築した。伏見桃山城から移築したと伝わる本堂や大広間、長浜城の追手門を移築した脇門(薬医門)など、建造物の多くが、国あるいは市の重要文化財。